



vol.33

足と靴の相談室エルデ

〒161-0031

東京都新宿区西落合3-20-9

Tel.&Fax. 03-3954-3636

URL: http://www.erde.jp

E-mail: office@erde.jp

ERDE Zeitung

合同会社 AMSTW (福祉の靴技術社) が設立されました

ドイツ整形外科靴技術の日本への普及を目指して努力してきた私たちの念願がかない、ドイツ整形外科靴技術に基づいた「日本人のための健康靴」の量産化の第一歩が踏み出されました。

このかん私たちは、「ドイツの技術を日本人のために生かす」との思いで、筑波大学の先生方のご協力を得て「日本人のための健康靴」を開発し、私たちの手の届く範囲の方たちへ提供するための試行的な生産を行なってきました。

このたび、私たちの考えに賛同して下さる方々の協力によって、この「日本人のための健康靴」の広範な普及を目指して、ファッション性を最優先した従来の日本の靴産業とは別の、「歩行具としての靴」というコンセプトによる新しい靴産業を育てていこうという試みが開始されることになりました。

それを担う主体として設立されたのが、合同会社AMSTW (福祉の靴技術社)です。

「AMSTW」とは、“anatomical and medical shoe technique for welfare”の略で、「福祉のための解剖学的・医学的靴技術」という意味です。

この会社は、社名だけではなく、事業の目的に「解剖学的医学的靴技術に基づく靴等の開発・販売」を掲げ、健康維持からメディカル対応までの「福祉と医療の観点を前提に開発された靴の供給」だけに特化した、おそらく日本では初めての企業ということになるでしょう。

ドイツでは多くのこのような企業が多様な靴を供給し、整形外科靴マイスターたちの仕事を支えていますので、私たちもこの仕事を始めた頃は、ほとんどすべてをドイツからの輸入に依存していたわけですが、そのため、必要な物がいつも入手できるとは限らず、十分な対応が難しい現実に直面することが度々でした。

その事態の克服のために、幾多の人たちの協力を得ながらドイツ輸入靴への依存を減らす努力を続けてきた私たちにとっては、AMSTWの設立は画期的なことです。

AMSTWの靴の供給が徐々に拡大することによって、日本人の足と靴の問題を解消するための事業が、ドイツ輸入靴に依存することなく、自立的に発展を遂げる基盤が整うことになるでしょう。

筑波大学の先生方のご指導を得て 「日本人のための健康靴」が完成しました



私たちが患者さんの足底板や靴をお作りするために、定期的に伺っている茨城県下妻市の下條整形外科の院長、下條仁士先生は、筑波大学出身でJOC医事委員も務める高名なスポーツドクターでもありますが、先生は筑波大学病院に在籍されていたころからドイツ整形外科靴技術に注目され、同じ筑波大学のこれまた高名なスポーツトレーナーである白木仁先生をはじめとした多くの先生方と共に、私たちの技術を評価して下さい、長年にわたって種々の内容でご指導して下さい。

下條整形外科の多くの患者さんへの対処の実績を踏まえ、筑波大学での白木先生、足立和隆先生のご指導による検証を経て開発した私たちのオリジナル・インソールを、このほど、AMSTWが「日本人の標準的な足の骨格維持機能を有したインソール」として“Anatomical Foot Bed”の名称で製品化し、AMSTWの靴に標準装備することになりました。

そして、このインソールの装着された「健康靴」シリーズを、

A.F.W.(anatomical foot wear)のブランドで今秋から発売開始します。

ちなみに、このA.F.W.の名称は、筑波大学の白木先生、足立先生、向井直樹先生が考えて下さったものです。

また、“Anatomical Foot Bed”の素敵なロゴは、筑波大学の芸術系の学生さんたちがデザインして下さいった作品の中のひとつを使っています。

その意味では、A.F.W.は、いわば「筑波大学ブランド」ともいえるべきものです。



Anatomical Foot Bed



ブラック
ブラウン

【女性サイズのみ】



ブラック
ダーク・ブラウン

会員価格(税別) ¥ 23,000